

## 令和6年度1学期始業式式辞

新しい年度が始まりました。

4月に入り、先週1週間、先生方には、みんなが今年度よいスタートが切れるよう、打ち合わせを含む様々な準備を行っていただきました。

その際、私は、先生方に、この1年は、特に学校の基礎体力を上げることに取り組みたいとお伝えしました。

私が考える学校の基礎体力とは「関係性」と「存在感」です。

今日は、そのうち「関係性」ということに絞って、みんなに話をしたいと思います。

まず、この機会に、みんなに振り返ってもらいたいことがあります。

これまで、学校で、友達や先生に声をかけられてうれしかったこと、それはどんな言葉ですか。

一人一人答えは違うと思います。もしかすると浮かばなかったという人もいるかもしれません。

私が、これまで関わった生徒から教えてもらったのが、「大丈夫？」という言葉。言葉をかけた方にとっては、何気なくかけた言葉でしたが、後で聞くと、かけられた側としては救われた気持ちになったと、この生徒に教えてもらいました。

そんなことを思い出しながら、私は、この学校で、みんなが豊かな関係性を築いてほしいと思っています。目指す関係性をあえて言葉でいうなら、互いに恵むと書いて「互恵的」な関係。似た言葉では、Win-Winの関係というものもありますが、もう少しお互いを大切にしようというニュアンスを含んだものです。

では、その互恵的な関係を実現するにはどのようにすればよいか。決して簡単なことではありませんが、一方で、ある意味やるべきことは単純だとも、私は思っています。

それは、次の3つの言葉をできるだけ多くお互いに掛け合えばよいということ。

その3つとは、「がんばれ」「ありがとう」「大丈夫」です。

「がんばれ」とは、「最後まで応援するよ」。

「ありがとう」とは、「この学校と一緒にいてくれてありがとう。がんばってくれてありがとう」

そして、3つ目の「大丈夫」には、2つの意味がある。

頑張っているけど不安になっている人には、「今のままで、大丈夫」。

うまくいかず困っている人には、「大丈夫？よければ、相談に乗るよ」。

この3つの言葉を、みんなの間で、そして、先生とみんなの間でも、お互い掛け合えば、今のこの学校での関係性がさらに深まっていくものと思っています。私も、先生方と一緒に、みんなに、これらの言葉を届け続けたいと思います。

最後に、私は、本校の校訓が一つであることにとても共感しており、さらにそれが克己＝己に克つであることに感銘しています。己に克つ。ここに至る道のりは非常に険しいです。私なんか、この年齢になっても、まったくそこに行き着いた気にはなれません。

確かに、何事も、最後は自分自身との戦いだといいます。しかし、自分自身に打ち勝つためには、相当に自分を高めなければならない。だからこそ、先ほどの3つの言葉ではありませんが、常に、みんなで励まし合い、感謝しあい、支え合うことが必要なのだと思います。この意味で、先ほど述べた関係性を深めていくことが、克己へとつながる一つの道でもあることをみんなに伝えたいと思います。

さあ、新しい年度の始まりです。この1年、みんなが様々な挑戦に挑み、失敗もしながら、大きな成長をとげてくれることを期待しています。最後まで応援します。一緒に頑張りましょう。